

海岸通哀愁

林田 重五郎 (随筆家・写真も)



郵船支店は昔は赤いレンガ色だったと思うが白灰色にぬってある。

ミナトの香を愛するものは、バンド（海岸通）の彷徨も好む。チリのパルパラインのバンドには居酒屋があったが、手風琴を肩にした老人が門付けに立っていた。香港島のバンドには、うまい焼飯も作る店があった。ニューヨーク港では……といった調子で、ミナトの思い出には、まずバンドが出て来る。

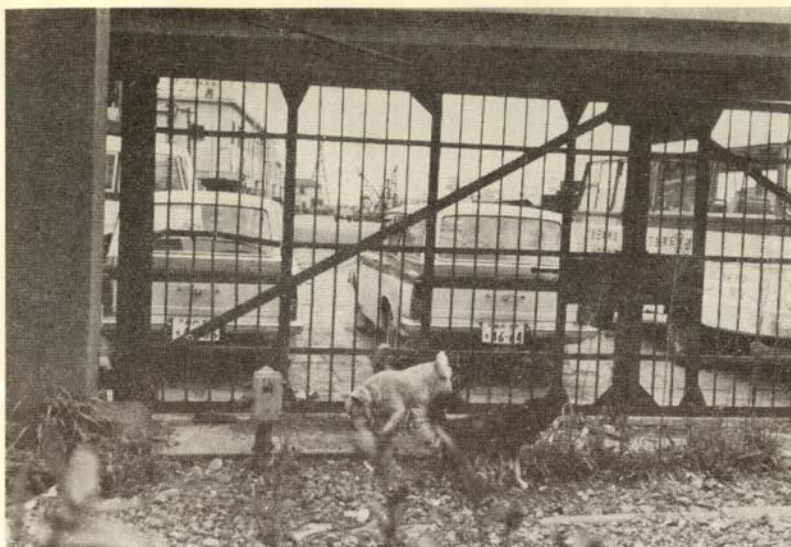
神戸の海岸通、ミナトとの境界を鉄道が走っている。古くからあるが、敷設当時は問題になったようだ。ミナトへの各入口と平面交叉するのだから反対があるのも当然である。昭和十年の暮には列車にはねられて二人が死傷している。

あのころは石炭をたく機関車だった。事故防止のため、ビルにヒビが入るほど、強烈な汽笛の音を立てたものである。一日二十八往復もしていたのだから、海岸通のビル街で、執務妨害になるのも相当なものだった。汽笛の吹鳴を禁ず……との立札が海員組合の名でレールの横に立っていたのを覚えてい



三丁目にある海員組合本部の建物、戦前は日本海員組合といった。建物の色も、もっと青かったように思う。空襲除けに今の白灰色にぬられたのであろう。その前を歩くと、昭和八年から十二年春までの長い間、この本部をめぐる争われた、さわぎを思い出す。

海員組合は日本の労働組合運動史の初期からの輝かしい存在である。昭和九年末の組合員数は九万九千八百四十五人、いまもそうであるが、当時も陸海を通じての最大組合の一つとして重視されていた。海員はすべて組合員であり、船主の団体である日本船主協会と交渉する。



海岸通からミナトをのぞくと、犬が三匹遊んでいた。

建物へ入ると、一階の広場に最高幹部のツクエが並んでいた。組合の創設者でありオヤジと愛称された浜田国太郎組合長の、きたえぬいた顔も見える。副組合長の堀内長栄氏はドッシリした巨人であった。国際部長は海のローマンズの著作で文人としても有名だった米窪満亮氏、小柄だが見るからに知恵者らしいシャープさだった。宮本調査部長は闘志の固まりのような人だったし、二階の別室には雑誌海員を出していた西巻教育出版部長がいた。指令一下、外航船を全部停めるゼネストも実行されたのである。

この強力な組合に内紛が起ったのは昭和八年、実力者の一人、赤崎組織部長がやめた以後である。目の細い、迫力のみなぎった人物だった。

浜田組合長は海上安全を願うため、布引の山に金比羅さんを建てることを考えたが、そんな時、組合経理に不審があると告訴が出された。反幹部派は革正同盟を作って、運動をはじめ、組合費船内積立の戦術に出た。



当時は船内高利貸と呼ぶ、いまの時代ではちょっと考えられない制度があった。海員が就職して船に乗る。身仕度もせねばならぬし船員宿の支払いもあるので、水夫ならば水夫長、火夫なら火夫長から借金するが、その利子が月一割五分だった。年ではなく月である。

百円借ると十五円、海員の給料は四、五十円の時代だから半額に近いことになる。しかも給料は水夫長にまとめて船会社から渡されるので、利子は天引きである。

組合費は月一円であった。月収の二分五厘だ



海員組合本部の建物もいろいろな歴史を味わってきている。

二つの組合の時代、新組合の社外船ストが起るなど、暗雲は日本のミナトミナトをおおいユウウツな日が続いたが、十二年三月、時勢も変って一本化した。

戦中の報国会の時代、そして戦後の全日本海員組合の新しい時代、新しい蔭山組合長に久し振りに会った。戦前の闘士で新組合の調査部長重厚な演説が心を打ったものである。亡くなられたのは本当に惜しい。

建物の三階を見上げながら、あのころの陰しかった組合大会をしのぶ。あの内紛は、マイナスも多かったが、副産物として海上の高利貸といった古い習慣を改める効果もあった。三十何年の昔のこと、今となつてはすべてがなつかしし、思い出すあの顔もこの顔も、笑っておられるように感ずる。



いま海岸通をゆくと、昔と大きく変っているのは阪神高速の大動脈が出来たことだ。その下を走るレールが光っているところを見ると貨物列車はいまも通っているらしい。汽笛の音は低くなつたのだろうか。

西村旅館のご主人西村貫一さんもなくなったし、令息の特殊カメラの製作で有名な雅貫さんも惜しいことになくなった。ミナトの香だけが昔とかわらない。

☆ ☆ ☆

から、これも高いとの不平も出てくる。同じく月給から天引きで、水火夫長が集めていた。これを組合に納めずに、内紛が片づくまで船内に積み立てようというわけである。

世界に雄飛していた海国日本、郵船商船その他の社外船と経営的には分かれていたが、社外船の海員の集まりである海友倶楽部を中心に反幹部運動が拡がり、船上での遊説隊の争いや、あちこちでの衝突がくりかえされる。

九年の末には白根兵庫県知事の調停で一度は和解したが、十年の五月ついに分裂して新日本海員組合が生まれる。

青春のかけらを

埋めた

神戸の街

藤井重夫

え・津高和一

おくにはどちらです、と訊ねられ、兵庫県ですと答えると、十人のうち七人くらいは、あゝ神戸のほうですか、と早のみこみをする。神戸が県庁所在地でもあり一番大きな都市だから兵庫県の代表にされているわけだ。

いや、私は神戸じゃないのです、と打消すと、それでは姫路のほうですか、りっぱなお城があってあそこもいいところですね。

いいえ、私の郷里は兵庫県もずっと北のほう、日本海に近い但馬の豊岡です。

なるほど、兵庫県は太平洋側と日本海側につきぬけた日本でただ一つの県でしたね、と相手はよ

うやく納得する。

こどものころ、父は商用で神戸へ出かけると、かならず平べったくまるい桶に詰められた味噌漬の神戸肉をみやげに買って戻った。

金網にのせてコンロの炭火で焼く。味噌といっしょに肉の焦げる香ばしいにおいが、家じゅうにただよいはじめる。間口九間、奥行十五間といふかなり大きな家である。

どの部屋にいても、神戸肉を焼きはじめると、そのうまそうなおいがおそってきて、少年の私は思わず腹がグウツと鳴るのをおさえかね、台所の母のところへ飛んでいって、金網の上で焦げて



狐色になりかかった味噌を指先ですくいとって口へ……

「これ、しぎょう（重夫）、おとなしう待ってりんせや」

いつも母に叱られたものだ。

神戸、という兵庫県の大きな街の名は、こうしたきっかけから少年の私の記憶に定着した。

あれはいつごろだったろうか。晩酌をしながら父がいった。

「神戸の牛肉がうまいのは、但馬牛だからだぞ豊岡の牛市でセリ落した牛をつれて帰り、焼酎やビールを飲ましたり、腹いっぱい米をくわして、何ひとつ仕事させずに肥え太らせるので、うまい肉になるのだぞ」

……もう四十数年のむかしのことである。

近ごろ松阪肉と称するあの高い牛肉も、私の郷里の但馬牛である。神戸肉は松阪肉の「先輩」にあたるわけだ。

神戸の想い出は、かずかぎりなくあるが、私はたちになるまえのある一時期に、忘れられないことが一つ。

街ではミス・コロンビアの「十九の春」が流行っていた昭和八年。私が好きだった喫茶ガールの丁子が、不良青年（戦後は愚連隊と呼んだ）にむりやり連れ去られ、神戸へ売られた。三の宮、生田、福原あたりを私は三日間、丁子を捜して回った。

湊川新開地のイルミネ塔の下で雨宿りをしていたところを、サーベルの巡査に交番へ連行された。私は浮浪の家出少年に見られたわけだった。関大の法科に学んでいた知合いに連絡がついたの

で、ブタ箱入りをまぬかれた。丁子のゆくえは結局、わからずじまいで、そのうち国は「八年戦争」に突入した。

蘆溝橋の一発とともに私は兵隊にとられ、四年来に生きて日本の土を再びふんだ。新聞記者になった私のふり出しは姫路支局で、十六年十一月十五日、大阪の天満宮で挙式した。

新婚わずか十日、神戸港へ蘭印からの邦人引揚げがはじまっていて、私は神戸支局へ応援にかり出された。

寒い和田岬沖で、チャーターしたハシケから汽船へ、汽船からハシケへ、早曉から日没すぎまで取材してまわった。

くたくたに疲れて「前線本部」の宿へ。酒をのみ、差入れの折弁をつついて、あとはザコ寝をする。三十畳という広い姫路の家に、結婚十日ばかりの妻をひとり留守にさせているのが気になって夢もむすべなかった。

それから十数日あとに、真珠湾奇襲にはじまる対米英宣戦布告——太平洋戦争が勃発した。

神戸の街には、少年時代の想い出とともに、私の青春時代のかげらがあれやこれや埋まっていた。

△作家▽



藤井重夫氏

SUMMER CANDY

COOL-six

クールなタッチのクールなキャンディ！

クールシックスサマーキャンディ！

太陽の季節の為にゴンチャロフが特別に
創りました。



チョコレート＊キャンデー

ゴンチャロフ

直売店 さんちか・スイーツタウン TEL39-3563
直売店 神戸商工貿易センタービル TEL25-0237

世界の人々に愛される北村パール



北村真珠店

元町通2丁目60 TEL 33-0072

子人会
★ 戸 済 談 ★
神 經 座

橋本八十彦

△第一銀行取締役神戸支店長△

石田 直幹

△東京銀行取締役神戸支店長△

柏井 健一

△柏井紙業取締役社長△

街の特殊性を生かす発展を

★日本全体を動かしていた神戸のよき時代

柏井 今日には神戸に一番古く店を出された第一銀行と東京銀行の支店長ということでお話をうかがいたいのです。橋本支店長は東京に長くおられ、また石田支店長は京都出身でニューヨークにもおられたという観点から、神戸の街に対して、神戸経済に対してご意見を聞かしていただきたいのです。

石田 神戸の銀行の支店長は早くかわりますね。普通は二年ぐらいで、私のように三年もいるのは珍しいですよ。橋本 私の方の銀行も、前の支店長が一年九カ月と一年三カ月と実に短期間ですよ。私もやっと一年を終えたところですが、もっと神戸に長くおろうと思っているのです。

石田 それはいいですね。神戸は商売にはならんけれど長くいるにはいいところですよ。(笑)

柏井 神戸のことに話が触れると、いつも商売にならんといわれるが、今日はそこところを、本当に商売にならんのかどうかをお話していただきたいのです。

石田 商売にならんのは、今では神戸だけでなく日本のどの都市でも同じことです。これだけ経済の東京集中が激しくなると大阪だって同じことがいえます。

柏井 ところが、商売にならん都市ほど、非常に生活が

しやすくなっている(笑)

石田 それは京都についてもいえますね。神戸の人も京都の人も非常に人柄がよい。金儲けに熱のあるのは、こんな街に残ってませんわ(笑)。京都に近江商人が入ってきても商売熱心な人は大阪へ行ってしまう。京都も神戸も生活エンジョイ型が多いのではないですか。

橋本 大阪で物足りなくなると東京に行くのが現状ですね。その点、商売という面では、神戸にもっと覇気があったらと思います。私どもの銀行では、歴史からいっても東京に次いで神戸に関係が深いのです。第一銀行としては、兵庫に第一国立銀行兵庫支店を出して九十七年になります。当時は私もより先に三井組が店を出しておられたが、まだ銀行にはなっていないかったので、銀行としては神戸で一番古いのです。東京に本店ができると同時に、横浜、神戸にできまして、あとは米の集散地の伏見や四日市に支店ができたのです。大阪や名古屋はまだまだあとのことですからね。

石田 神戸銀行協会の序列では、三井銀行、第一銀行、東京銀行の順になっているのです。東銀の場合は、東銀の前身である横浜正金銀行として横浜の本店と神戸支店が同時にできたのですよ。それ以後の神戸の発展はいうにおよばず、神戸の第一次世界大戦頃の貿易、海運の隆



橋本 八十彦氏

それが皆、学校を出て最初に入ったのが神戸支店なのです。私のところの役員の半分ぐらいが、最初に神戸支店に入っている。それが神戸のウエイトだったわけですね。

★神戸の断絶した歴史から
特殊なモダンさが生じる

石田 神戸の歴史を見ても、いわゆる神戸っ子といわれる世代は、ここ最近のうちにつくられていると思うのです。その点、京都とは比較にならない。二世三世の街という意味では東京も神戸も割と似ているのです。橋本 東京は江戸三百年を経て明治を迎える近代の歴史を持つ

盛はものすごいものでしたからね。日本の都市の中でもっとも注目をあつめた都市だったのではないですか。
柏井 当時は、欧米の海運の中心地が神戸に移ったほどで、金融市場の大きなマーケットでもあったのでしょう。橋本 日本全体を造船、海運で動かしていたのです。これは今でも基本的には残っていますし、またそうでないといけない。

石田 私か戦前、神戸支店に入った時、この店には四百人もいて大阪支店より大きかったが、今では大阪支店が五百名以上で、神戸は一六〇名ぐらいになっている。

橋本 それだけに先輩で神戸を知っている人が非常に多い。皆が神戸に非常に親しみを持っていますね。

石田 神戸の支店長では大阪系はだいたい取締役ですが東京系では、私と第一銀行の二人だけなのです。それぞれの歴史から神戸にウエイトを置いている。先日、ニューヨークの支店長とカリフォルニア州東京銀行の頭取が大阪支店長と会って、二次会に神戸に飲みに来たのです。

ているが、実際には大半の人が東京以外の地から来た人で、悪くいえばはきだめの街だ。ところが、東京の場合東京に来た人が真先に皇居を見るように、東京を皇居との関連で感じると同時に、江戸三百年からの近代の歴史を根強いものとしてうけとる。しかるに、神戸は断絶の歴史なのです。源平の頃の古戦場の歴史から、楠正成の湊川神社、それから一足飛びに開港へと続く。たしかに神戸には古い名所旧跡も数多くあり、外部から来た者にとっては、懐しい地名に触れて神戸はいいところだなと思う。しかし、神戸に住んでいる人は名所旧跡などほとんど知らないし、大事にする気配もない。このあたりが、二世、三世の意識を東京と異なって実生活の中で一層モダンにしているのかもしれない。

石田 私の知っているアメリカ人は、日本の都市の中で最もモダンな都市は神戸だといいますね。東京のモダンさは生活に即さないのが多いが、神戸は実生活の中で歴史を離れた明治以降の洋風文化を誇りを持ってすすめて



石田直幹氏

柏井 ところが神戸の中小貿易商社の場合は、輸入を扱うような経済環境にはないですね。石田 今やっている輸入は、服飾関係とか、外国の室内装飾とか、特に女性の服飾関係で、これらは神戸がすすんでいるので東京には神戸から流れていく。ファッションという面では東京より早いといわれていますね。しかし、これからの輸入の可能性として、日本で食糧が自給自足できなくなつて輸入するようになる、神戸が食糧の輸入港としての意味はでてきます。橋本 原料的なものの輸入は神戸では難しいですね。大企業

きた感じがします。これが神戸の特殊性でもあると思いますね。ただ神戸を愛する若い世代も、もう少し歴史的なところは大事にしていだきたいと思いますが。同じ港町として発展してきた横浜ですが、どうも野暮つたところがある。横浜の没落は非常に激しい。神奈川県には社債を発行する企業が今ではなくなっている。完全に東京の一部であり、ベッドタウンなのです。その点、神戸には川崎重工、川崎製鉄、神戸製鋼、日本毛織など大きな企業がまだ健在です。橋本 京阪神と京浜とでは明らかに内容がちがつてくる。横浜は東京の一部だが、神戸は大阪の一部ではありませんから。

石田 鉄道の関係で、神戸、大阪、京都とならんていて京都と神戸は大阪を介して通じているようだが、もともとは神戸と京都は西国街道を通じ、神戸は京都防衛の西の要衝でもあった。神戸、大阪、京都と三角形をつくっているのです。現在でも高速道路では、大阪を通らずに

京都に行ける。神戸、大阪、京都が三角形であることがそれぞれの街の特殊性を守ることができたのでしようね。★これからは雑貨輸出から覇気を持つて輸入へ

石田 私らの商売からみていると、特殊な銀行だから取引が貿易業者に限られますが、日本の貿易が十のびれば、神戸は六ぐらいしかのびていない。しかも、扱っている品物が、輸入が少なくて輸出が大部分で、その輸出のほとんどが雑貨である。ところが、これだけ労賃が上がつてきますと雑貨輸出は非常に難しくなつてきました。円が強くなつて、円相場が上がり輸出が儲からんということもあるでしょうが、基本的には賃金の上昇が原因です。神戸の貿易はここ数年相対的にぐっと低下している。実際、下請けが人が集まらなくて、値段から見ても神戸の雑貨の質が落ちてきている。これに後進国の方で特惠関税の問題が入ってくると、とてもたちうちできなくなる。これを救う道としては、輸入の方はいいのですから輸入に転換するしかないのではないかと。

の本社が神戸にあっても、たとえば川鉄の鉄鉱石の輸入でも、これは東京で行なってしまう。大商社の本社や支店があるわけでもないから、原料には全く結びつきません。

石田 そうですね。それで私が盛んにすすめていることなのですが、今の大企業の工業製品は、大半は下請けに依存しているわけです。その下請けが労働不足で困ってきている。アメリカが自動車の部品を日本に発注しているように、日本も海外へ、東南アジアへ注文しなければならぬ。そういう商売は、神戸の人が考えてもいいのではないかと思うのです。このことを盛んにすすめているのですが、どうも神戸の人は金儲けにアクドイのあまりいなくて、生活が足りてから、あまり無理せんとかとなる(笑)それと、輸出港としても日本で最高の取扱高を占めているのですが、神戸の商売としてみると、戦前は外国為替の取扱いが日本の二〇%を占めていたのが、今は三%ぐらいになってきている。たしかに港は繁盛していますが、神戸の商売ではなくなっているのですね。そういった経済の二重性が感じられますね。

柏井 港湾荷役専門の港になってしまっている。これでコンテナが発達すると、名古屋や東京の人が利用することになるだけで、神戸に落ちる金は太したことがない★情報化時代には、センスで国内市場の開拓！

石田 戦前はインド商、華僑、いろんな他の貿易商がいたのですが、今では華僑だけです。その華僑も、今は貿易よりもレジャー産業、不動産業方面へだんだんかわってきている。一般の貿易商もそういう状態ですから、女性の服飾とか、インテリアとか、スーパーマーケットお菓子などの国内産業の第三次産業部門で進んでいくのではないか。これが本物になってきて、輸出産業と結びついて、フランスがセンスを世界に対して売物にするようになれば、街のイメージも一層かわってくると思うのです。今の状態ではまだそこまでは遠い。輸入への転換もまだ覇気が感じられない。神戸は今、非常に難しい転

換期に来るのではないかと私は見ているのです。しかし、幸い神戸は歴史的に、東南アジアや中近東には強いものを持っている。この伝統を生かしていかなければならない。

柏井 ただこの強みを、火種があるうちに何とかしなければならぬ。このままいけば、火種もなくなってしまうという感じはありますね。貿易の面からみすと。

石田 その傾向は、私の予測しているよりもずっと早いですね。この悪くなる方のテンポは早いですね。コストが上がってきて収益がぐっと悪くなってきています。特恵関税の問題がある前に、輸出よりも輸入に重点をおいて、国内商売に眼を向けることの方が賢明ですよ。

柏井 阪神間には昔から関西の高所得者が住んでいるし生活も中クラス以上の人が多い。この人たちがショッピングの場所を大阪に求めるか、神戸に求めるかを考えると、いわゆるセンスの面からみても、将来の商品の豊富さ、選択の自由さ、駅をおりてからの距離から言ってもほとんど神戸に出てくる可能性がある。そうすると、神戸は、東京の商店と競争しうる国内産業の中心として育っていくのではないのでしょうか。

石田 その意味では、神戸は情報化時代には適しているのではないですか。京都の呉服ものを見ていると、昔からマーケティング・リサーチをしているのですね。新しいデザインをつくって高く売る。だから京都の問屋の息子に絵かきが多いのですよ。京都には昔から美術学校があって、これは図案描きを養成している。神戸あたりにも、ファッションの国内産業の中心市場となるためには、ファッションの下絵をかくものを育てる美術学校があるのではないのでしょうか。今は誰も外国語を勉強されている時期だが、それもさることながら情報化時代を考えると、神戸の将来をみると、外国語よりも、もっと共通話であるセンスを学び、それで国内市場を開拓する方がいいのではないか。またそのための地盤をつくっていないか、当面のことだけ考えていてはだめです。



柏井健一氏

的な気持があらわれていると見ているのです。

橋本 私も最初はよく分からなかったのですよ。経済同友会というのは地元の財界人がやられるものだと思っていました。神戸という街は、本当に外部からの受入れ体制ができあがっていますね。昼といわず夜も（笑）

柏井 外部の人に抵抗がないというのは、その点甘さもあると思いますね。生活満ち足りて、まるで神戸温泉につかっているところもあります（笑）

橋本 企業も世界的にはなっているが、地域性というか風土というものは否定できない。地域とどうやって結びついて特殊性を生かしていくかが、私たちのように転勤のある者にとっては印象深く受取られます。銀行の支店があるのは、そういう地域性をいかに支店が見つけだすかということですね。それも日本列島の規模で地域性を考えることがたいせつです。

柏井 その地域性を見つめる中で、全国的な銀行の視野から神戸をごらんになって、いろいろとアドバイスをしていただきたいと思っています。

橋本 その点、神戸銀行の石野頭取のような視野の広い方のもとにあつまって銀行協会でにぎやかな会合ができるというのは、とても東京では考えられないことですね。この大きな理由は、広野ゴルフ場があるおかげだと石野頭取も言っておられましたよ（笑）

石田 酒もうまいし、魚はうまい、肉も菓子もうまいときているから、神戸支店長というのは最高です（笑）

〈文責編集部〉

橋本 情報化時代で神戸がセンスを売るとなると、東京が一番大きな市場ではないですか。神戸のいろんな企業にしても、実際の栄養は東京から得ているのですから、大阪よりも東京との密着の度は大きいし、東京がまた世界の経済の中心になりつつある。神戸と東京の人の考え方に差がなくなっているのではないのでしょうか。神戸におも大企業のメーカーが存在して、一方、ファッション、お菓子などの消費産業が根を下ろしている体制は、東京に十分対抗できるものだと思いますね。

柏井 その意味で、経済的な独立性を神戸は保ちうるでしょうね。

★夜も昼も受入れ体制が整っている神戸の街

柏井 神戸経済同友会でも、石田支店長には国際経済部会、橋本支店長には産業体制部会のそれぞれの委員長という重要なポストをお願いしているのですが、これが、他の都市の経済同友会では、普通地元出身者でポストを占めるのです。これにも神戸経済界が外に向かって開放

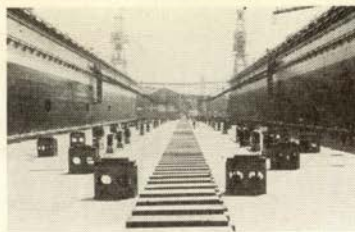
経済ポケット

ジャーナル



★稼動しはじめた 巨大浮ドック

さる四月十四日、三菱重工業神戸造船所で、五万五千トンD・W・Tフロアティンクドックの完工披露パーティーが行なわれた。明治四十一年同造船所で



55,000t のフローティング・ドック

建造して以来稼動していた二万重量トン用浮ドックの二世として誕生したもので近年、船舶の大型化にとともに、大型船の修繕工事の世界的需要にこたえるべくして、特に、入出渠設備、注排水設備、塗装設備、ク

レーン設備など主要設備に最新式の機械と器具を採用した新鋭ドック。

★中突堤にホテル完成

神戸港中突堤に建設中だった「神戸タワーサイドホテル」が完成、四月二十一日には、兵庫県知事をはじめ市長市内財界人約七〇〇名余りの出席の中で完工式が行なわれた。

同ホテルは、神戸振興協会が約八億二千万円で昨年六月十八日から建てていた鉄筋十三階建、高さ塔屋最高部も含めて地上四八m、延床面積一〇、二二九㎡の白い建物は、四国・九州そして沖縄航路の発着地である中突堤の環境を一新した感がある。三・四階の旅行会館は、神戸市内における旅行等団体客の宿泊施設不足の解消と、一七一室からなる七・十二階のホテルは比較的低料金の内外客受入施設、船客の利便はもとより国鉄、阪神電車元町駅まで徒歩で七分という海陸からの至便の地にあることは



いうまでもない。

同二十三日から開業したが、「従業員訓練とサードビスのゆき届きを」と、当事務所では張り切っている。

★神戸銀行の石野信一氏 同友会代表幹事に就任

市街地再開発、西北神開発、港湾機能の整備など、神戸経済の課題をになつて昭和四十五年度神戸経済同友会の代表幹事に、神戸銀行頭取の石野信一氏、小泉製麻社長の小泉徳一氏が選任され、去る4月13日、神戸銀行クラブに於て就任披露パーティーが催された。大蔵政務次官から神戸銀

行の頭取となり、神戸財界に立ち戻った石野信一氏と理論家と知られる小泉徳一氏の代表幹事就任とあつて砂野仁、原口忠次郎、宮崎辰雄、岩武照彦、榎並正一田中寛次、秋田博正、牛尾吉郎、柏井健一氏など神戸政財界より各氏が集まり、また大阪から住友銀行専務の伊部恭之助、三和銀行専務の高山義雄氏も顔を見せなごやかに、代表幹事並びに新役員を囲んで交歓した。



左・石野信一氏 右・小泉徳一氏

★ KOBE オフィスレディ ★



白 浜 則 子 (22)

金子真珠(受付)勤務

御影の緑の樹木に囲まれ、北向きに大きな明り窓と、それは画家のアトリエにも似ている。ほとんどが電話での応対、お客さんも外人バイヤーが多く英会話は勿論、勤務について2年目のキャリアからか、落ち着いた歯切の良い言葉が感じがいい、明朗なお嬢さんだ。神戸市在住 43年長崎県立女子短大英文科卒

あなた自身の毛皮コートを
おつくりになりませんか！



ヨーロッパより新しい色のミンク、その
ほかいろいろな毛皮が入荷しました。

ほかの方のお召しになっていないあなた
自身のオリジナルコートをこの好期にぜひ
ご注文ください。

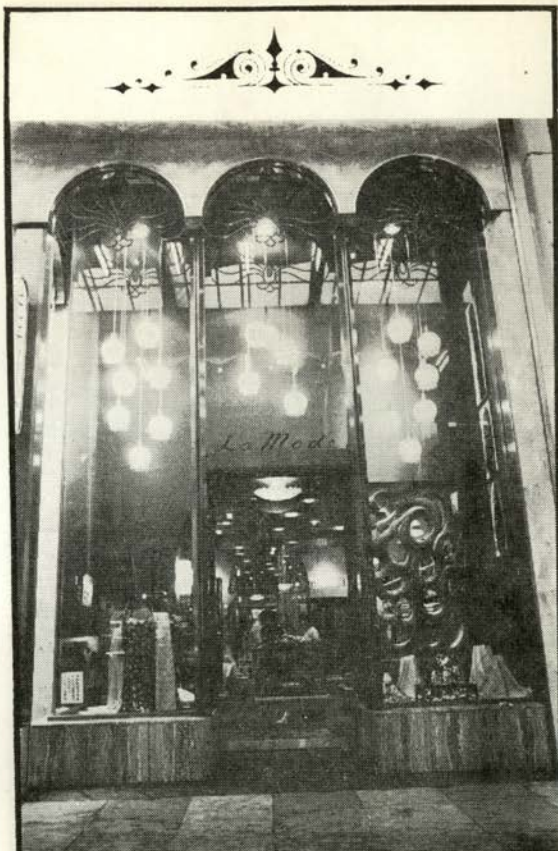
特別価格にて奉仕いたします(8日まで)

日曜・定休日



三毛皮店

神戸国際会館1F TEL (078) 22-3327



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689

大丸前店・生田区三宮町三丁目十七番③七五五〇
 京町店・生田区三宮町一丁目十七番③二〇三八
 六甲店・灘区將軍通三丁目十六番⑧七八三〇三



藤井 まつ子

Soen 装 苑

EXPO 70 協賛・絹と真珠展（日本真珠会館4F）に、日本の美しさをいかした優雅なイブニングドレスを出品しております。

* 初夏をいろどる *
 * マキシンの帽子 *



マキシンの帽子のおもてめは
 全国有名百貨店でどうぞ！

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
 TEL(078)33-6711~3 TEL(03)535-5041

★技術ジャーナル ③

七〇年代の

技術革新展望 ③

諸岡 博 熊

▲神戸市企画局調査部副主幹

⑪光コンピュータ

リレー式、トランジスタ、IC、LSI……とコンピュータは進歩して、演算速度、記憶容量など性能は飛躍的にあがった。ところが、一方、情報量は無限といつてよいぐらい増加し、これをこなすためにはこのようなコンピュータでは限界がきた。

これに代わって、パターン認識——人の顔や声を見たり聞いたりすることは、レーザーによる光計算機ならば、こなすことができるといわれる。

光は地球上で最高のスピードであるから、パターン認識も不可能でないだろう。通産省の電気試験所では初步的な光計算機をすでに試作している。

⑫高速カメラ

高速を求められるものには輸送とカメラがあるといわれる。一秒間に五十万コマ

のスピードで連続撮影できる高速カメラは、日本光学と東京大学生産技術研究所の協力で開発された。

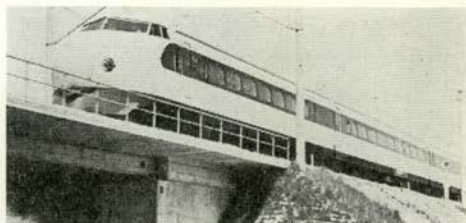
毎秒撮影速度が六百万コマのカメラがこれで、スポーツの分解写真から素粒子の動きぐあいの調査にこんご大いに活用されることだろう。

⑬高速鉄道

東海道新幹線や山陽新幹線は、鉄と鉄の粘着力のギリギリにいどんだ高速鉄道である。それは一応三〇〇キロの時速が限界といわれる。このため粘着力を利用しない高速鉄道として、国鉄の鉄道技術研究所が試作しているのに、リニア・モーターがある。これは、線路を電磁石にして走る車輪のない鉄道で、時速三〇〇～五〇〇キロである。昭和六〇年頃に想定される第二東海道新幹線はこれによって、東京・大阪間が一時間半ということも夢でなさそうだ。

⑭高速船

運輸省船舶技術研究所では三十ノットの高速船の開発研究を数年前から行っている。原子力商船と並ん



高速鉄道山陽新幹線

き上げることである。そのためにも、陸海空で高速化が競っているといつて過言ではない。

SST（超音速機）は一九七二年には実用化されるが、現在の夢は、HST（ハイパー・ソニック・トランスポート）極超音速機といわれている。つまり、SSTの五～十倍、毎秒二千～三千メートルというスピードで飛びかい、地球はますます縮んでいく。

HSTの燃料は液体水素を、胴体は超耐熱材料を使用する。一九七〇年代後半には東京・ニューヨーク間一時間半というHSTが出現することだろう。

⑮高压技術

新しい物質を合成するために、大阪大学では八十万気圧の発生に成功している。古くは、アンモニアの合成から人工ダイヤモンドの製造へと高压技術は進歩してきた。

物質の合成とともに、高压下ではタングステン、モリブデン、超硬合金など加工しやすくなることから材料加工の面からも応用範囲は広いことだろう。

★地下街よりいい、という評価をこの立体商店街に与えたいと思います。

2階、3階のショッピングストリートにつき当りに、街なみと青空が見えるのも、何かと気持をやわらげます。

坂道を歩いていて、視線の下に街や海が見渡せる時と同じような立体感が、2階、3階のショッピングストリートに、あります。

二階のテラスー立体広場で、冷たい外の空気に触れるのも、気持を落ち着けます。

立体駐車場……、車を下りて、街を見渡して、下へ降りてショッピングストリートへ向う、という道程も、坂を下りて買物に行く神戸での街の生活体験の構成に、何となくふさわしい感じもします。

ところが、こうした立体感の体験は、建物のなかをさまよう時だけで、外から立体商店街を見た時には、全く今までの建物と同じにしか感じないのが残念です。

街なみの視線をドンとさえぎる巨大な四角い箱なのです。それも、鉄骨コンクリートの骨組に色とりどりのハリボテを加えた、立体コラージュです。

自然の地形などが持っている立体的な環境は、人工的な建物ではつくりだせないのでしょうか？このことは、何もこのさんプラザの建物に限ってのことではありません。立体ショッピングストリートの先に見えた街なみのやりきれなさは、こういった建築物の集積がもたらしていることです。

★ところで、インテリア空間の立体的構成は、ショッピングストリートの上下の積み重なり、平行する何本かのショッピングストリートが、つくり出しているものです。ストリートの中が広いことは、この立体商店街の気分をのびのびさせてくれます。そして、上下の構成に対しては、ストリートの床仕上げが、そのレベルの違いを表現しています。

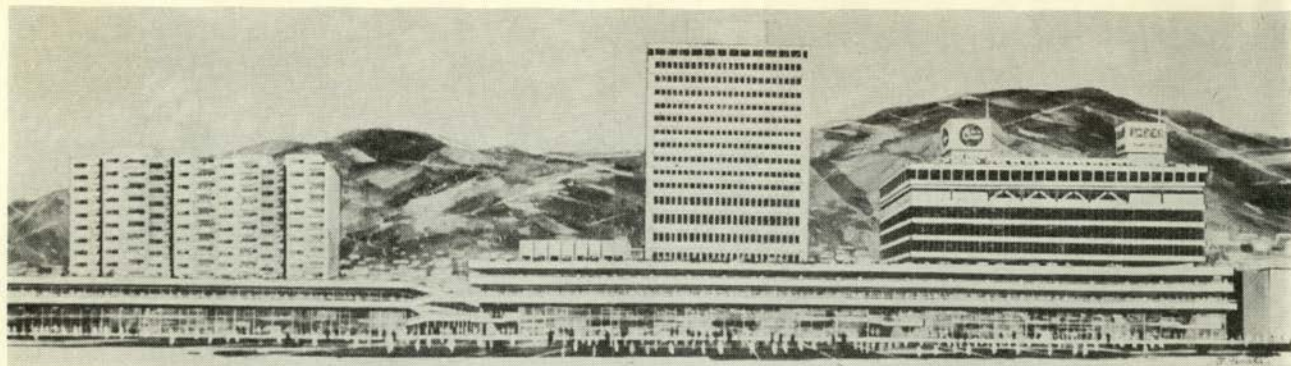
ところが、平行するストリートの違い……表と裏については、そういう積極的な配慮が見られません、地下の仕上げだけは例外ですが、その結果は、平行するストリートの性格の違いが全体として、何となくあいまいとなっています。

これも、四角の箱の建築、という大きな枠がそうさせているともいえるでしょう。

立体的な積層構造という表現と同時に、ストリートを中心とした棒状の空間のヨコへの束ね合せ、という積極的知恵が欲しかったとも思います。

★センター街、それと平行した2本のインテリア・ストリートが、何となくゴチャゴチャになって組合わされてしまいそうです。

個々の商店の機能ののれん的個性をおしつぶしてしまう防災建築、個々のショッピングストリートのつくり出す性格を何となく平均化してしまうマンモス建築、といったことを防ぐ、もう1つの知恵・もう2つの知恵がどうしても必要なようです。（水谷頤介）



- ▲ 完成予想図左よりA、B、Cブロック。地上からは、このように山並がみえないのが残念。
- ◀ センター街をはさんで 左 防災ビル、右 さんプラザ。アーケードは、今後どのようになるだろうか。
- ▼ 外からみたCブロックさんプラザ。鉄骨の骨組+モルタル被覆+ハリボテコラージュ仕上。



Cブロックさんプラザ断面図
駐車場——二二から降れば商店街

2階のテラス——立体広場

地下一階は——レンガ敷とセラミックタイル敷飲食街



特集

神戸のモダンリビング

(39)

「空間」の印象を育てる知恵

チーム・UR

さん プラザ

★「街のなかの建物、建物のなかの街」この相互関係のとらえ方と構成の手法が、大型ショッピング街をつくる重要なポイントだともいえます。上部工事中、一部未完成店舗をかかえながら、センター街に、市街地改造ビルとして堂々オープンしたサンプラザをこの観点からみてみましょう。ここに集まる人々がお客様として建物の中の街に定着してゆくかそれた Shop in Shopping Center と感じるかどうか、このプラザの興亡の鍵をにぎっているように思われます。

★オープニングの初日、日曜でもあって、人人人、しかし、すべて「さんプラザ」に集中というような事もなさそうでした。中はゆったり、人垣をみつけて近よると、立体広場—オープンなテラスで歌を歌っているお嬢さんでした。このテラスは、各階の手すりからみえるし、広場自体が段状になっていて、ステージ風にも使えるのがミソともいえそうです。建物の中の床仕上げはなかなかふうしてあって比較的グッドともいえます。しかし吹き抜けの天井の丸い箇のライティングは、あまり上品とはいえません。共通の廊下部分などに、もう少し花をいたり、ベンチをいたり、テラス喫茶風に活用するなどくふうして、ところどころ外の空気をすえる場所を有効にアピールして、建物の中の街ではお客をゆったりと気持ちよく止める場所を造っておくことも一つの作戦として必要でしょう。どんどんお店が増えて、これをすべて延々と見て歩かなければならない。たいていは一人一人自分自身のショッピングマップを持ってくるもので、いつのまにか、必ずのぞくお店や、休む場所等決ってくるものです。



▲今までの神戸風ではないショップも並ぶストリート

▶2階3階の吹き抜け、天井には色とりどりのプラスチックライトが……。



★ショップデザインは、やはり個々のお店の実力がものをいうか、お店のデザインやレイアウト、建物の中のストリートへの働きかけが、外部のショッピングストリートとはちがった形であってもよいのではないか。オープンなショールームにするのも一つの方法だし逆に、共用部分を店の中にとりこんで人を引き入れる方法もあるのではなからうか。

地下の食堂街……三宮の南側に少なかっただけに便利でもある。その場で焼きながら売ってくれるパン屋さんなど、思わず買いこんでしまいそうな楽しさがある。固定されたメダーストラクチャーの中でマイナーなストラクチャーの部分がそれぞれ趣向をこらして変化してゆく柔軟さを今後、楽しみにしてゆくことにしましょう。(高月昭子)

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神 戸

西 店/三宮センター街・電話 33-8 8 3 6 (代)

東 店/三宮センター街・電話 33-0 6 2 9

三宮店/さんちかタウン・電話 39-4 3 0 3

東 京

銀座店/銀座並木通・電話573-5298 (代)

渋谷店/東 急 本 店・電話462-3409 (直)

日本橋店/東急日本橋店・電話211-0511 (代)

(5 階和装名産街) (4 階和装名産街) (内線294)

EXPO'70

万国博記念ゴーフル



・ゴーフル
¥500



・フロテーターゴーフル
¥500

世界のお祭り
万国博のお土産
銘菓ゴーフル



・ゴーフル
¥300

万博会場内土産品売店
京阪神各百貨店、三番街
さんちか、元町本店にて
販売中

神戸にそだって 70 年

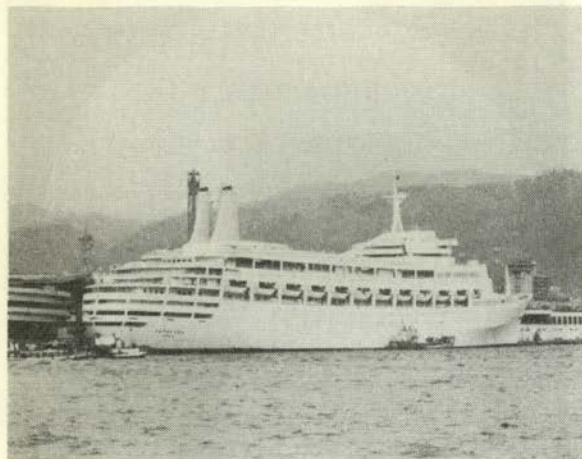


元 町 3 丁 目 TEL 39 2412-5

さんちかスイーツタウン TEL 39 3455

《第3回神戸っ子クルーズ》

キャンベラ号 英国豪華客船 45,000トン 秋の香港・マカオ船の旅



船旅の優雅さを満喫しよう！

10月30日～11月6日〈7泊8日〉

★旅行総費用 152,000円 〈ファーストクラス〉

142,000円 〈ツーリストクラス〉

神戸港出発——長崎寄港——香港——マカオ——香港——大阪空港

★費用には船代・ホテル代・食費・飛行機代を含んでいます。

★船のキャビンの大小で多少値段がかわりますが、1人部屋、2人部屋、4人部屋色々です。

★くわしい旅程の案内状がご入用の方は神戸っ子編集部までお申込み下さい。

定員30名・メ切9月20日〈船の部屋どりがありますので早くお申込みを〉

■お申込みは

神戸っ子編集部〈主催〉

神戸市葺合区八幡通5丁目9-6

K・Eビル4階 TEL 22-7 0 3 7

ドッドウェルトラベルサービス〈協賛〉

大阪 大阪市西区靱1丁目102〈辰己ビル1階〉

大阪〈203〉5 1 5 1代表

神戸 神戸市生田区京町7-2〈クレセントビル内〉

神戸〈39〉8 0 3 1代表

人間味あふれた
手づくりの美しさ…



インテリアの



不二屋

ショールーム 神戸市生田区三宮町3丁目5番地
<トア・ロード> 神戸 (078) 39-0535 (代)

葦合工場 神戸市葦合区旭通1丁目10番地
小東山工場 神戸市垂水区多聞町小東山975ノ1

GENERAL  ELECTRIC

水屋兼用になる
大型冷蔵庫
特約販売中



輸入家庭電化製品
神戸唯一のGE特約店

輸入電化製品の
修理も致します

リイチ 産業株式会社

三宮・トア・ロード TEL (078) 33-8673

まいるーむ まいしよっぴ



フリースペース

古代の人々が
漠然と恐怖感を
抱いていた空間に対して
インテリア・イリフネは
皆さまの快適な
うるおいのある
居住空間に
クリエイトいたします。

I
Interior
rifune
I

インテリアイリフネ



入船株式会社木工部

神戸市灘区友田町5丁目2-2
TEL 078 (85) 3191~4